BUFFALO

リンク シアター
LinkTheater

ビデオプレーヤー

LT-H90 シリーズ

ユーザーズマニュアル

使ってみよう

詳細設定

付録

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　A: フロッピードライブ
　C: ハードディスク
　E: CD-ROM ドライブ

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・文中＜　＞で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。（例）<Enter>

■ 電波に関する注意 (LT-H90WN のみ)

●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

●次の場所では、本製品を使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）

●本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解／改造すること
・本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

●本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

・産業・科学・医療用機器
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

①構内無線局（免許を要する無線局）
②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

●本製品を使用する場合は上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz/5.2 ～ 5.3GHz
変調方式	OFDM 方式 / DS-SS 方式 /MIMO-OFDM 方式単信（半二重）
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

目 次

使ってみよう

詳細設定

付録

使ってみよう

本製品の使いかたや、設定方法について説明しています。

制限事項

本製品でパソコンが認識できないときは

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品でパソコンが認識できないことがあります。このようなときは、ファイアウォール機能を無効にするか、ポートの使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトウェアをアンインストールしてください。【P40】

AirStation に AOSS で接続する方へ (LT-H90WN のみ)

AirStation と AOSS で接続している場合、その他の機器が AOSS で接続するとセキュリティーレベルが変化し、本製品からサーバーが見えなくなることがあります。このようなときは、再度 AOSS で本製品と AirStation を接続してください。

複数の AirStation に無線接続するときは (LT-H90WN のみ)

●初回セットアップ時に AOSS で AirStation(A) と無線接続すると、別の AirStation(B) と AOSS を使用しない無線接続ができなくなることがあります。
このようなときは、次の手順で接続してください。

1. 本製品の設定画面で「設定初期化] を選択して出荷時設定に戻します。

2.AOSS を使用しないで AirStation(B) と無線接続を行った後で、AirStation(A) と AOSS での無線接続を行ってください。

● AOSS で AirStation(A) と無線接続した後に、別の AirStation(B) と AOSS で無線接続した場合、設定画面 [プロフィールに接続します] の選択欄に AirStation(A) の接続が表示されないことがあります。
このような場合は、以前に接続した AirStation(A) と再度 AOSS で本製品と AirStation(A) を接続してください。

本製品と AirStation を固定 IP アドレスで使用しているときは (LT-H90WN のみ)

本製品と AirStation を固定 IP アドレスで使用しているときに AOSS で無線接続を行うと、AOSS 設定終了後に本製品からサーバーが見えなくなることがあります。
このようなときは、本製品の設定画面（[設定］ー［ネットワーク設定］ー［プロフィールを修正します]）で IP アドレスを再度設定してください。それでもサーバーが見えないときは、AirStation の DHCP 機能を有効にして再度 AOSS で本製品と AirStation を接続してください。

無線 LAN のセキュリティー (認証のタイプ) の設定について (LT-H90WN のみ)

無線 LAN セキュリティー (認証のタイプ) に TKIP を用いた場合は十分な転送速度を得ることができません。動画、音楽再生時にコマ落ちや途切れが発生することがあります。

再生できるファイルの種類

本製品で再生できるファイルの種類は、次の通りです。

項目	内容
対応動画フォーマット形式 (※1、2、3)	[MPEG-1] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 5.5Mbps [MPEG-2] ・最高解像度 1440x1080 ・対応最高ビットレート 25Mbps ・対応条件 main profile@H14 まで対応 [MPEG-4] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 5Mbps [H.264] ・最高解像度 1920x1080 ・対応最高ビットレート 17Mbps ・対応条件 H.264/AVC main and high profile Level4.1 まで対応 [WMV9] ・最高解像度 1920x1080 ・対応最高ビットレート 8Mbps ・対応条件：WMV HD まで対応 [Xvid] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 3Mbps
対応音声フォーマット形式 (※2、3、4)	[AAC-LC/HE-AAC] ・サンプリングレート：32/44.1/48 kHz ・対応条件：ISO/IEC 13818-7 [MPEG-1Layer 1,2,3(MP3)] ・サンプリングレート：32/44.1/48kHz ・対応条件：ISO/IEC-11172-3 [Dolby Digital(AC-3)] ・サンプリングレート：48kHz ・対応条件：ATSC-A52/a [WMA](※5) ・サンプリングレート：32/44.1/48kHz
対応画像フォーマット形式	jpeg(ベースライン jpeg 対応 / プログレッシブ jpeg 対応)、bmp、png、gif
認識できるファイル拡張子	動画：mpg,mpeg,vob,mp4,wmv,asf,m2t,m2ts,mts,mov,3gp,3g2,mkv,iso,m2p,ts,vro,avi 音楽：wav,mp3,wma,m4a 写真：jpg,jpeg,png,bmp,gif
接続可能な USB 機器	マスストレージクラスに対応した以下の USB 機器 (※6) ハードディスク、フラッシュメモリー、カードリーダー、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ

※1：本製品を 11Mbps の無線 LAN で接続した場合、または USB1.1 の機器から再生した場合、3Mbps 以上のファイルではコマ落ちや音とびが発生することがあります。

※2：ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

※3：著作権保護されたコンテンツを再生する場合、対応最高ビットレートが低下することがあります。

※4：音声が 5.1ch の場合、2ch にダウンサンプリングされます。

※5：WMA Lossless のコンテンツ再生には対応しておりません。

※6：FAT または FAT32、NTFS でフォーマットされた機器。マスストレージ対応機器。ただし、お使いの USB 機器によっては正常に認識できないことがあります。

ドルビーについて

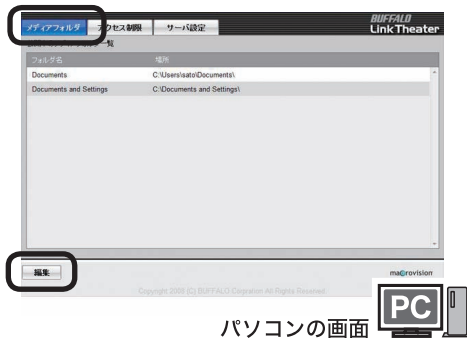
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。本製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

再生するフォルダーを登録する

本製品でパソコンのファイルを再生するには、パソコンの画面で再生フォルダーを登録してください。

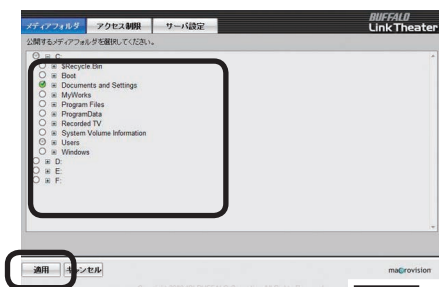
1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[メディアマネージャ] をクリックします。MediaServer2 がブラウザで起動します。

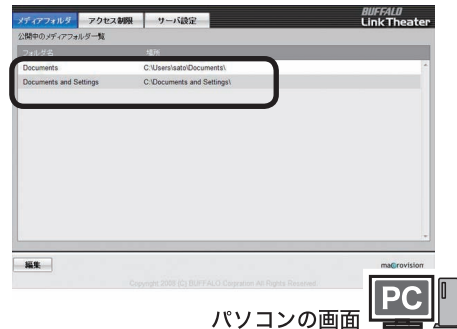
メモ Windows Vista をお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行] をクリックしてください。

2 [メディアフォルダ] タブを選択し、[編集] をクリックします。

パソコンの画面 PC

※本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、パソコン画面に パソコンの画面 PC と案内しています。

※本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

3 再生したいファイルがあるフォルダーを選択し、[適用] をクリックします。

パソコンの画面 PC

4 追加したフォルダーが表示されます。

パソコンの画面 PC

メモ 画面を閉じるときは、ブラウザーのタイトルバー右の [×] をクリックしてください。

以上で再生フォルダーの登録は完了です。

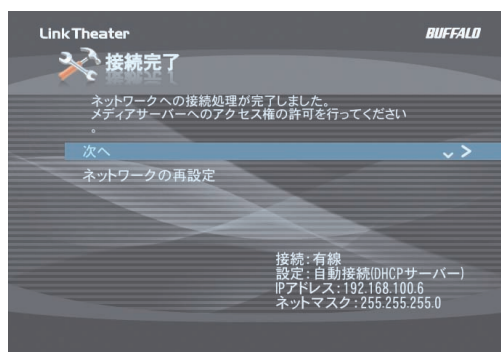
メモ MediaServer2 の詳細については、ヘルプをご参照ください。MediaServer2 では、アクセス制限等を設定することもできます。

[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[MediaServer2 ヘルプ] をクリックすると表示されます。

起動時のファームウェアアップデート機能について

本製品を起動するとき、インターネットに接続している環境であれば自動的にファームウェアを最新版にアップデートします。

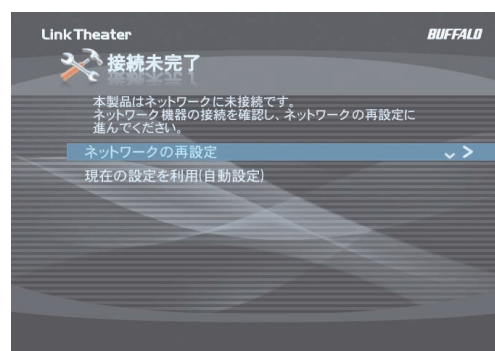
＜有線接続での初回起動＞

LAN ケーブルを接続して本製品の電源を ON にすると、次の画面が表示されます。

テレビの画面 TV

※本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、テレビ画面に テレビの画面 TV と案内しています。
※本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

[次へ] を選択し、リモコンの▶ボタンを押すと、ファームウェアのアップデートが開始されます。

＜無線接続での初回起動＞

LAN ケーブルを接続せずに本製品の電源を ON にすると、次の画面が表示されます。

テレビの画面

[ネットワークの再設定] を選択しリモコンの▶ボタンを押すと、ネットワーク設定画面となります。【P30】

ネットワークの設定が完了すると、有線接続の場合と同じ画面が表示されます。[次へ] を選択し、リモコンの▶ボタンを押すとファームウェアのアップデートが開始されます。

メモ　起動時のファームウェアアップデート機能を使いたくないときは、LAN ケーブルを接続せずに電源を ON にして、初回起動時は [現在の設定を利用 (自動設定)] を選択し、２回目以降はトップ画面 (Home Screen) が表示されるまでそのままお待ちください。P38 の手順で最新版のファームウェアにアップデートしてからお使いになることをおすすめします。

データをテレビで再生する

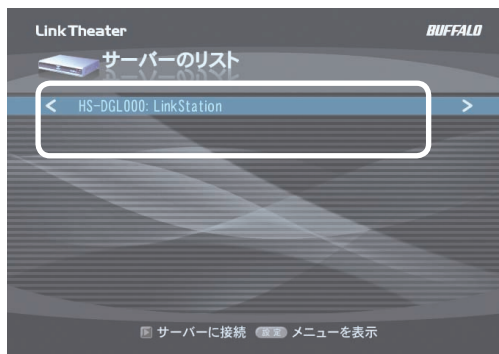
次のようにパソコンやサーバーのデータをテレビで再生することができます。

⚠注意 ・テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。

・ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

1 テレビに表示されているトップ画面(Home Screen)で、[DLNAサーバー]を選択し、リモコンの[選択・再生]ボタンを押します。

テレビの画面 TV

2 表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

3 再生したいジャンル、ファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

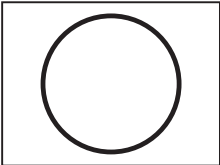
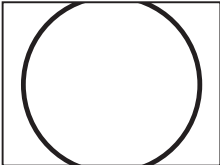
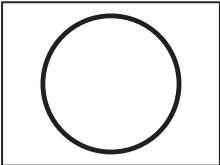
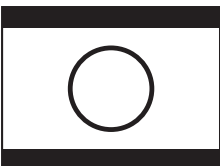
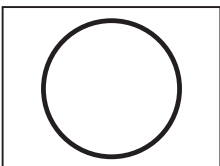
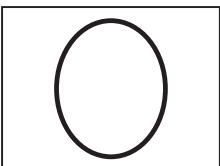
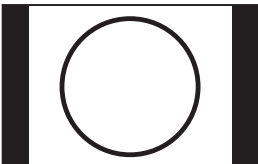
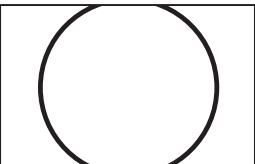
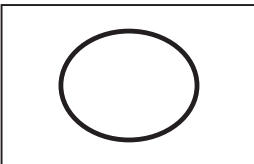
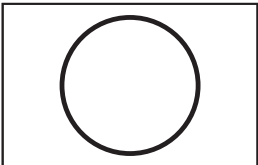
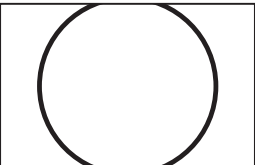
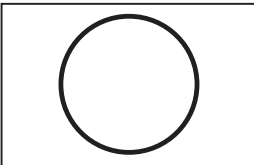
選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

メモ ・フォルダーを選択してリモコンの［再生］ボタンを押すと、フォルダーの中のファイルが連続再生されます。

・ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。

リモコンの[設定]ボタンを押します。→[ＤＬＮＡ機能設定]→[表示順の変更]→「ソートしない」「タイトル順」「日付順」のいずれかを選択してリモコンの[選択・再生]ボタンを押します。

・HDDレコーダーなどに録画された地上デジタル放送の再生中にリモコンの「0」ボタンを押すと字幕を切り替えることができます。

※字幕情報が失われているコンテンツでは表示できません。

以上でデータの再生は完了です。

メモ　ビデオ再生中のズームボタン操作について

ビデオ再生中にリモコンの [ズーム] ボタンを押すと表示を「ノーマル」「ズーム」「フル」に切り換えることができます。画面の表示のされ方は、お使いのテレビ画面や再生するデータのアスペクト比によって異なります。

※表示を「ズーム」にしているときは、DVD メニューや字幕が正しい位置に表示されません。

※再生するビデオの形式などによっては正しくズームされないことがあります。

		ノーマル	ズーム	フル
D1 D2	4:3 ビデオ			
	16:9 ビデオ			
D3 D4	4:3 ビデオ			
	16:9 ビデオ			

ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する

BUFFALO メディアサーバーで設定したフォルダー以外にも、次のように Windows でネットワーク共有フォルダーに設定したフォルダーを検索して再生することもできます。

⚠注意 ・テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子から表示ができる状態にしてください。
・ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

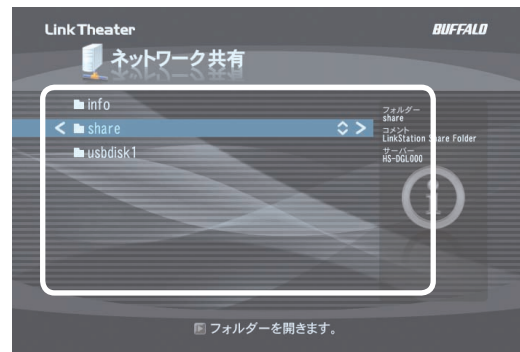
1 テレビに表示されているトップ画面 (Home Screen) で、[ネットワーク共有] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ ネットワーク共有フォルダーの検索には数分の時間がかかります。そのままお待ちください。10 分以上待っても応答が無い場合は、本製品の接続を再度ご確認ください。

2 サーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 再生したいフォルダー、ファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

メモ ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。
リモコンの [設定] ボタンを押します。→ [ネットワーク共有機能設定] → [表示順の変更] →「タイトル順」「日付順」「サイズ順」のいずれかを選択してリモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

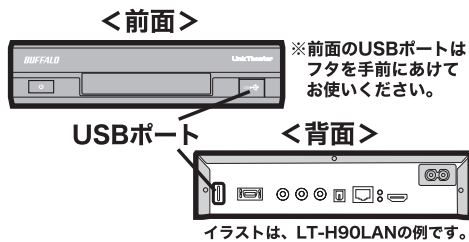
以上でネットワーク共有フォルダーのデータの再生は完了です。

メモ ファイルリストの画面でリモコンの [設定] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。
一般設定：
P31 の一般設定を表示します。
ネットワーク共有機能設定：
P31 のネットワーク共有機能設定を表示します。
選択した項目をお気に入りに追加：
選択したファイルをお気に入りに追加します。

USB ポートに接続した機器から再生する

本製品の USB ポートに接続した機器から再生する場合は、以下の手順で行ってください。

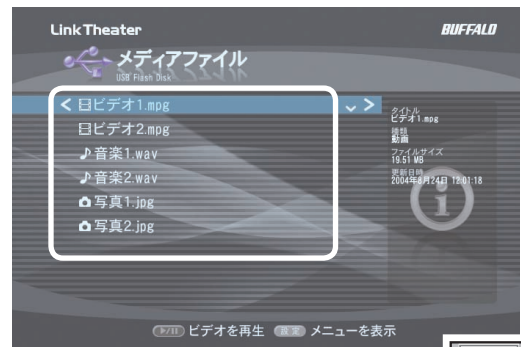
⚠注意
- テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子から表示ができる状態にしてください。
- ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。
- USB 機器を接続したまま本製品の電源を ON すると USB 機器が認識されないことがあります。このようなときは、一度 USB 機器を取り外し、再度取り付けてください。
- お使いの USB 機器 (複数ポートを持った USB カードリーダーなど) によっては、認識できないことがあります。あらかじめご了承ください。

1 本製品の USB ポートに USB ハードディスクまたは USB フラッシュメモリーを接続します。

2 テレビに表示されているトップ画面 (Home Screen) で、[USB 機器] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 USB デバイスのボリュームラベルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 再生したいファイルやフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

⚠注意 再生中は USB 機器を抜き差ししないでください。本製品のシステムが、停止または再起動をすることがあります。

メモ ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。

リモコンの [設定] ボタンを押します。→ [ＵＳＢ機器機能設定] → [表示順の変更] →「タイトル順」「日付順」「サイズ順」のいずれかを選択してリモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

以上で USB ポートに接続した機器からの再生は完了です。

メモ ファイルリストの画面でリモコンの [設定] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。

一般設定：
P31 の一般設定を表示します。
USB 機器機能設定：
P31 の USB 機器機能設定を表示します。
選択した項目をお気に入りに追加：
選択したファイルをお気に入りに追加します。

DVD ISO イメージ の再生

ネットワーク共有フォルダーや本製品の USB ポートに接続したドライブの場合、*.ISO ファイル、または VIDEO_TS/VIDEO_TS.IFO を含むフォルダーを選択して再生することができます。

再生手順は、P9「ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する」、P10「USB ポートに接続した機器から再生する」をご参照ください。

⚠注意
- [DLNA サーバー] では、*.ISO ファイルに対応した DLNA サーバー (BUFFALO　MediaServer2 Ver.2.4 以降で対応) からのみ再生することができます。
- プロテクトが掛かった DVD は再生できません。
- レジューム再生には対応していません。

ISO ファイルまたは下記のフォルダー構成の場合に再生することができます。

- **DVD タイトル名 .ISO**　←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。

- **DVD タイトル名**　←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。
  - **VIDEO_TS**　←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。
    - **VIDEO_TS.IFO**　←このファイルが存在しない場合は DVD ビデオとして認識されません。
    - *****.VOB**　←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと ***.VOB ファイルを通常の MPEG-2 ファイルとして再生することができます。
  - **AUDIO_TS**

メモ
- 再生中にリモコンの次のボタンを押すと、以下の動作をします。
- 「トラック前 / 次」　チャプターを切り換えます。
- 「0」　字幕を切り替えることができます。
- 「出力切替」　アングルを切り替えることができます。
- 「TOP」　タイトルメニューを表示します。
- 「設定」　ルートメニューを表示します。

ハイビジョンビデオカメラ録画データを再生する

本製品は、ハイビジョンビデオカメラの録画形式で使われる AVCHD 形式と HDV 形式の両方に対応しています。

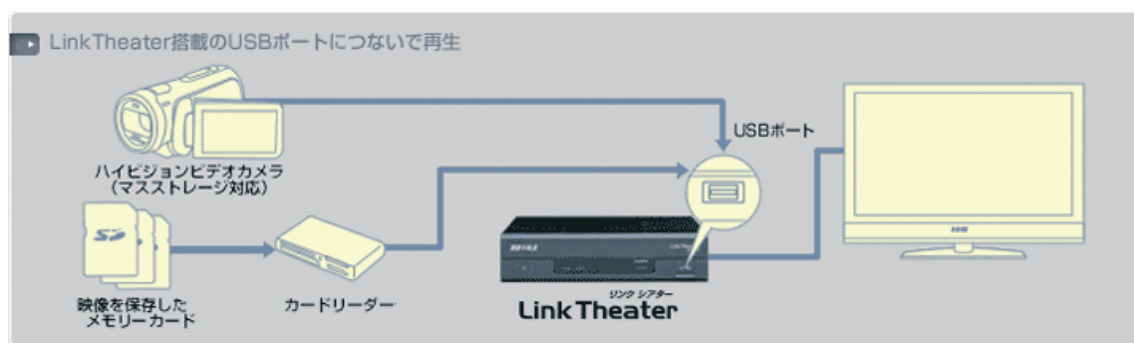
メモ　対応ビデオカメラについては、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

パソコンに移動した録画データを再生する

デジタルビデオカメラで撮った録画データをパソコンの共有フォルダーに移動すれば、本製品からテレビに映像を出力することができます。
再生する共有フォルダーの登録手順は、P5 をご参照ください。再生手順は P7 をご参照ください。

直接ビデオカメラを本製品に接続して再生する

ハイビジョン対応のビデオカメラで撮影した映像を、ビデオカメラやメモリーカードに入ったままリビングのテレビで再生することが可能です。本製品の USB ポートにカードリーダーやビデオカメラを直接つないで、撮影したビデオを LinkTheater で再生することができます。
USB ポートに接続した機器からの再生手順は P10 をご参照ください。

注意　ビデオカメラがマスストレージに対応している必要があります。

※イラストは、LT-H90LAN の例です。

本製品に接続したハードディスクに直接保存する

本製品には前面と背面に USB ポートが各 1 個ずつあります。USB ポートにハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラ、もう一方の USB ポートにハードディスクをつないで、ハードディスクに映像や画像などを直接保存することができます。

ハイビジョンカメラ、デジタルカメラ等　　LinkTheater　　USB 接続ハードディスク または LinkStation/TeraStation

■ 対応カメラ
- DCF 規格 (DCIM/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
- SD-VIDEO 規格 (SD_VIDEO/ABC001/ABC001.xxx)
- メモリースティックビデオフォーマット (MP_ROOT/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
- AVCHD 規格 (AVCHD/BDMV/STREAM/00001.MTS)

■対応ハードディスク
- FAT32 でフォーマットされたもの
- 書き込み可能
- ハードディスクのみ、フラッシュメモリーなどは非対応
- 本製品と同じネットワークに接続されている LinkStation/TeraStation

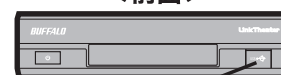
1 テレビに表示されているトップ画面 (Home Screen) で、[カメラバックアップ] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

テレビの画面

2 バックアップ先が、USB ハードディスクか、LinkStation/TeraStation かを選択し、▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 画面の指示にしたがって、カメラとハードディスクを接続します。

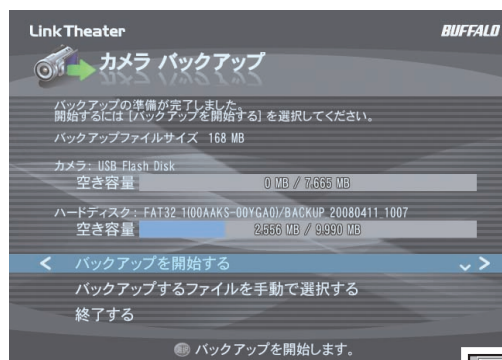
テレビの画面 TV

メモ
- 上記の画面は、手順 2 で USB ハードディスクを選択した場合の画面です。LinkStation/TeraStation を選択の場合、画面の指示にしたがってバックアップ先の共有フォルダーを選択してください。
- 複数台のカメラやハードディスクが接続されていると、カメラおよびハードディスクの選択画面が表示されます。画面の指示にしたがってバックアップしたいデータが入っているカメラ、バックアップ先に使用したいハードディスクを選択してください。

メモ　カメラ側の設定をマスストレージモードに変更する必要があります。変更の方法はカメラに付属のマニュアルをご参照ください。手順例は次の通りです。

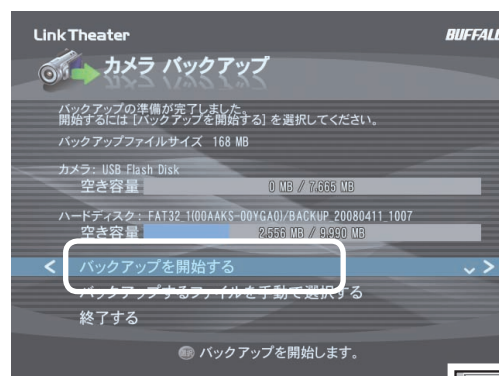
■ ソニー製 HDR-SR1 の例
1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面（USB 機能選択）で、[パソコン接続] を選択します。
※ハードディスクに録画した場合と、メモリースティックに録画した場合で選択するボタンは異なります。詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

■ サンヨー製 Xacti DMX-HD1000 の例
【液晶を閉じた状態でクレードルに設置している場合】
1．USB ケーブルを接続します。
2．クレードルのボタンを押します。
詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。
【液晶を開いている場合】
1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面（USB 接続）で [パソコン] を選択します。
詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

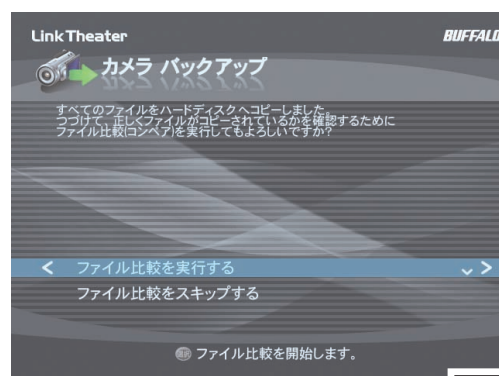
■ ビクター製 Everio GZ-MG330 の例
1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面で [パソコンで見る] を選択します。
詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

4 バックアップファイルの検出が完了すると次の画面が表示されます。

テレビの画面　TV

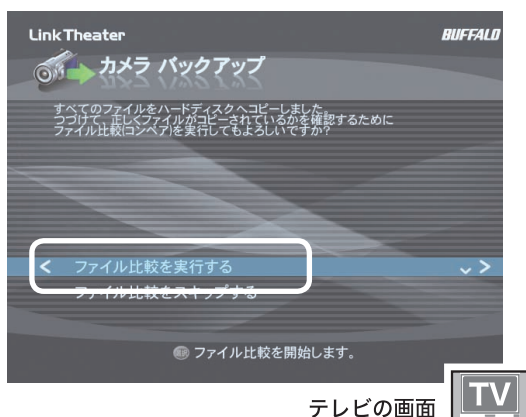
メモ　画面には、バックアップするファイルサイズ、バックアップ先の空き容量等が表示されます。
表示されているディスク領域の青い部分は空き領域です。

5 [バックアップを開始する]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面　TV

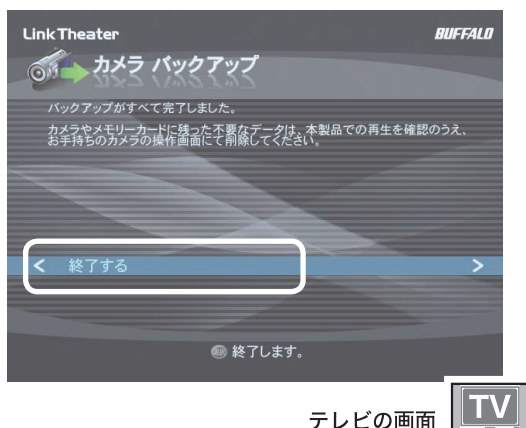
メモ　[バックアップするファイルを手動で選択する] を選択すると、バックアップするファイルやフォルダーを選ぶことができます。
フォルダーを選択した場合、フォルダー内の全てのファイルがバックアップされます。空のフォルダーはバックアップされません。ファイル選択画面で、一番上のディレクトリから、リモコンの ◀ ボタンを押すと再度バックアップファイル検出中の画面になります。

6 バックアップが完了すると次の画面が表示されます。

テレビの画面　TV

メモ　バックアップファイルは、下記フォルダーにバックアップされています。
例）BACKUP_20080201_1224
※ BACKUP_ の後に表示される文字は、バックアップするファイルの中で一番新しいタイムスタンプの日時となります。

7 [ファイル比較を実行する] 選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

メモ ファイル比較とは、バックアップしたファイルと元のファイルを比較してバックアップが正常に完了したかを確認するための処理です。確認が不要な方は、[ファイル比較をスキップする] を選択してください。

8 [終了する] 選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

以上で保存は完了です。
保存した USB ハードディスクのデータを再生するときは、P10 をご参照ください。

お気に入りフォルダーの登録とアクセス

お気に入りの動画・音楽・写真データのフォルダーを登録することができます。お気に入り機能の使い方は以下の手順になります。

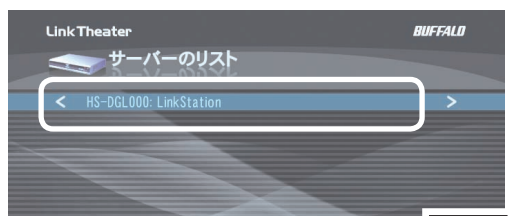
お気に入りフォルダーの登録

1 **本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。**

テレビの画面

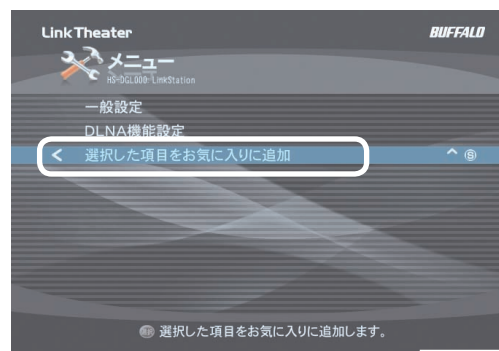
2 **[DLNA サーバー] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。**

テレビの画面

3 **表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

テレビの画面

4 **お気に入りに登録したい、フォルダー・ファイルを選択し、リモコンの [設定] ボタンを押します。**

テレビの画面

5 **[選択した項目をお気に入りに追加] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

テレビの画面

以上でお気に入りフォルダーの登録は完了です。

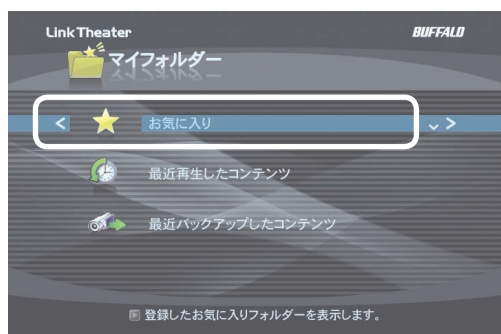
お気に入りフォルダーへのアクセス

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面

2 [マイフォルダー] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

テレビの画面

3 [お気に入り] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 アクセスしたいフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

メモ
- お気に入りに登録したフォルダーを削除するには、リモコンの [設定] ボタンを押し、表示されたメニューから [お気に入りから削除] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。
- フォルダーを選択してリモコンの [選択・再生] ボタンを押すと、フォルダーの中のファイルが連続再生されます。

以上でお気に入りフォルダーへのアクセスは完了です。

最近再生したコンテンツの再生

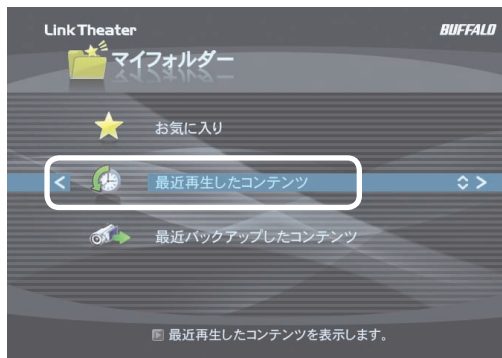
最近再生した動画・音楽・写真データの履歴から簡単にまた再生することができます。

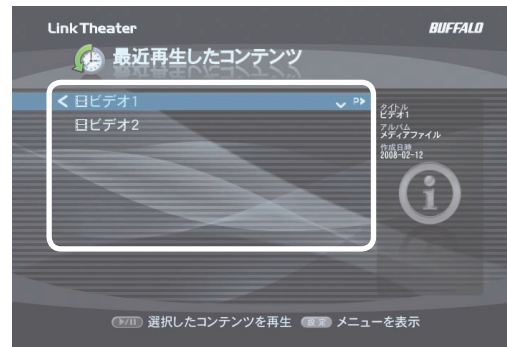
1 **本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。**

テレビの画面

2 **[マイフォルダー] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。**

テレビの画面

3 **[最近再生したコンテンツ] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

テレビの画面

4 **再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

テレビの画面

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

以上で最近再生したコンテンツの再生は完了です。

最近バックアップしたコンテンツの再生

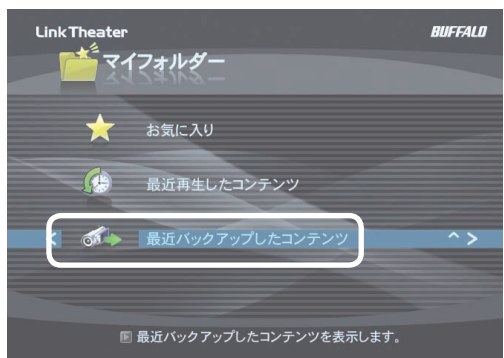
トップ画面の [カメラバックアップ] で過去にバックアップしたコンテンツをリストから簡単にアクセスすることができます。

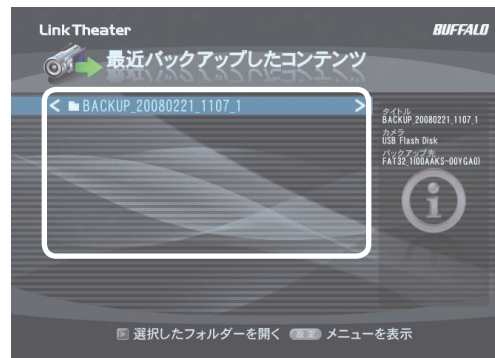
1 **本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。**

テレビの画面

2 **[マイフォルダー] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。**

テレビの画面

3 **[最近バックアップしたコンテンツ] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

テレビの画面

4 **再生したいファイルがあるフォルダを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。**

テレビの画面

5 **再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。**

メモ リモコンの[設定]ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。

一覧から1件削除
一覧から選択したフォルダーを削除します。実ファイルは削除されません。

一覧から全件削除
一覧からすべてのフォルダーを削除します。実ファイルは削除されません。

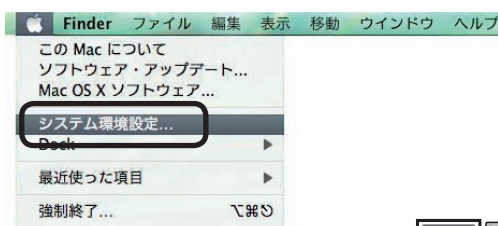
以上で最近バックアップしたコンテンツの再生は完了です。

Mac OS X の共有フォルダーにアクセスするには

Mac OS X に共有フォルダーを設定すると、本製品から共有フォルダーの動画・音楽・写真データを再生することができます。

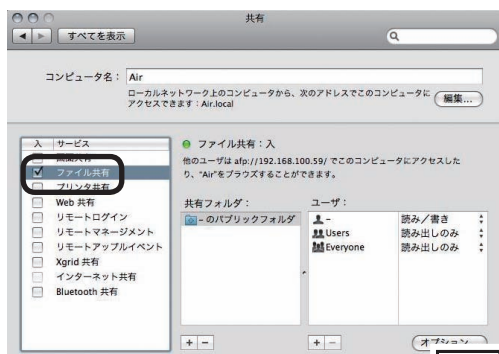
Mac OS 側の設定

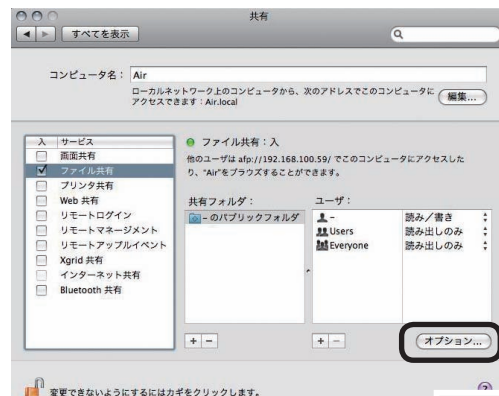
＜ Mac OS X 10.5 の例＞

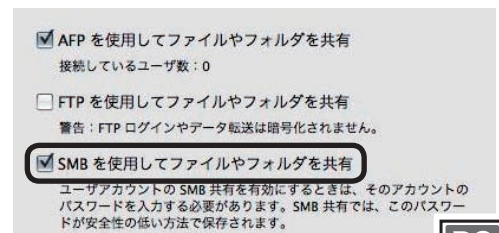
1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

パソコンの画面

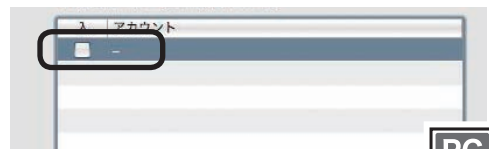
2 [共有] をクリックします。

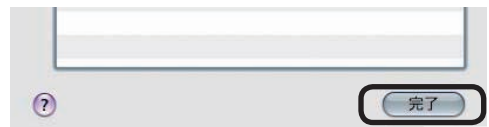
パソコンの画面

3 [ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

パソコンの画面

4 [オプション ...] をクリックします。

パソコンの画面

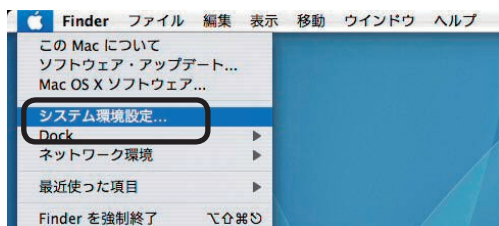
5 [SMB を使用してファイルやフォルダを共有] をクリックします。

パソコンの画面

6 共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します）。

パソコンの画面

7 [完了] をクリックします。

パソコンの画面

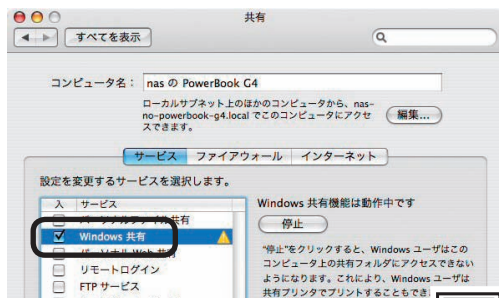
以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

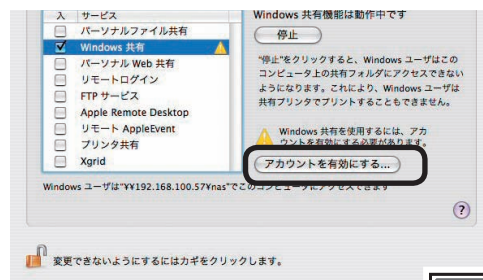
＜ Mac OS X 10.4 の例＞

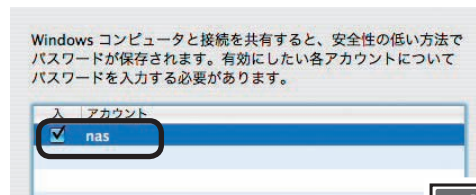
1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

パソコンの画面

2 [共有] をクリックします。

パソコンの画面

3 [Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させせます。

パソコンの画面

4 [アカウントを有効にする ...] をクリックします。

パソコンの画面

5 共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します）。

パソコンの画面

6 [完了] をクリックします。

パソコンの画面

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

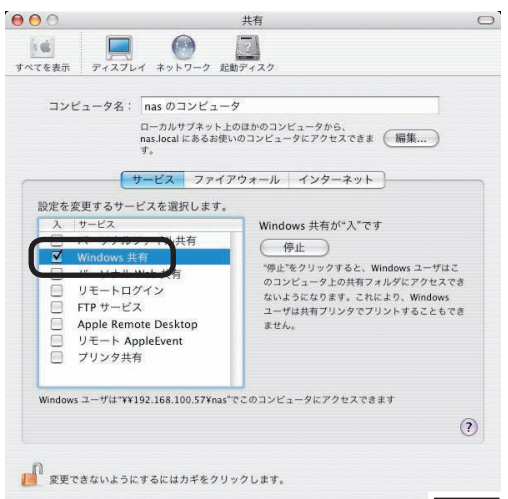
< Mac OS X 10.3 の例>

1 **アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。**

パソコンの画面 PC

2 **[共有] をクリックします。**

パソコンの画面 PC

3 **[Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させせます。**

パソコンの画面 PC

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

< Mac OS X 10.2 の例>

1 **アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。**

2 **[システム] 欄にある [アカウント] をクリックします。**

3 **ログインに使用するアカウントをリストから選択して、[ユーザを編集 ...] をクリックします。。**

4 **パスワードを入力し、[ユーザが Windows からログインするのを許可する] を選択して、[保存] をクリックします。**

5 **[OK] をクリックします。**

6 **[すべてを表示] をクリックします。**

7 **[インターネットとネットワーク] 欄の [共有] をクリックします。**

8 **[Windows ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させせます。**

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

※ Mac OS X 10.2 より前の Mac OS のホームフォルダーにアクセスすることはできません。

本製品側の設定

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

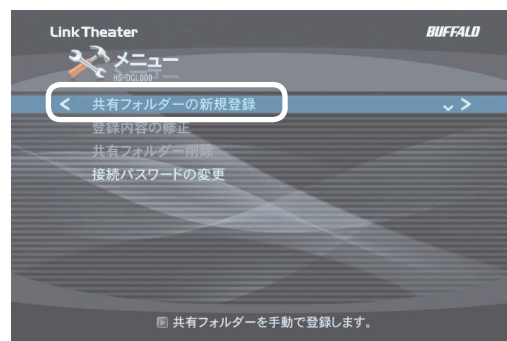
テレビの画面

2 [ネットワーク共有] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

テレビの画面

3 リモコンの [設定] ボタンを押します。

テレビの画面

4 [共有フォルダーの新規登録] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

5 サーバー名（またはサーバーのIP アドレス）、共有フォルダー名（MAC の場合は選択したアカウント名と同じです）、ユーザー名、パスワードを入力します。

テレビの画面

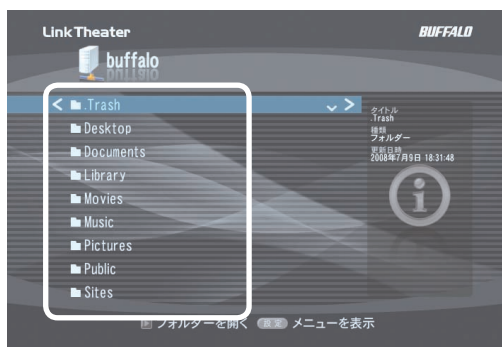
メモ 日本語などの 2 バイト文字を入力することはできません。

6 [登録] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

7 登録した共有フォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

8 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

以上で Mac OS X の共有フォルダーにあるファイルの再生は完了です。

DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する

DLNA(Digital Living Network Alliance) について

DLNA（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）は、デジタル機器 (パソコン・家電・モバイル機器など) の相互接続環境を実現するために業界標準技術の製品設計ガイドライン「ホーム・ネットワーク・デバイス・インターオペラビリティ・ガイドライン」を定めています。

本製品は、DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生することができます。弊社製 DLNA 対応 LinkStation/TeraStation については、弊社ホームページ (buffalo.jp) にてご確認ください。
LinkTheater のサーバー選択画面で、DLNA 対応メディアサーバーを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P7「データをテレビで再生する」と同様です。

DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生するには、メディアサーバーの設定画面でメディアサーバー機能を有効にしてください。設定方法については、メディアサーバーのマニュアルをご参照ください。

メモ　ファイルリストの画面でリモコンの [設定] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。
一般設定：P31 の一般設定を表示します。
DLNA 機能設定：P31 の DLNA 機能設定を表示します。
選択した項目をお気に入りに追加：選択したファイルをお気に入りに追加します。

Windows Media Connect サーバーのデータを再生する

Windows Media Connect について

Windows XP で Microsoft Windows Media Connect をインストールすると、パソコンに保存している音楽、写真、ビデオを、UPnP プロトコルを使用して本製品で再生することができるようになります。
Windows Media Connect は、Windows Update([カスタムインストール]-[ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択]) よりインストールすることができます。

本製品は、Windows Media Connect がインストールされた Windows XP パソコンのデータを再生することができます。
LinkTheater のサーバー選択画面で、Windows Media Connect サーバーを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P7「データをテレビで再生する」と同様です。

Windows Media DRM で著作権管理されたコンテンツを再生する

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) について

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) は、コンピューター、デジタル オーディオ プレーヤー、またはネットワークデバイスで再生する場合、コンテンツを保護し、安全に配信するプラットフォームです。

Windows Media DRM は、Windows Media Connect サーバーと付属の BUFFALO メディアサーバーに対応しています。
LinkTheater のサーバー選択画面で、Windows Media DRM に対応しているサーバーを選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P7「データをテレビで再生する」と同様です。
※ Windows Media Player は最新のバージョンをお使いください。
※サーバーとなるパソコンであらかじめ再生し、ライセンスを取得しておく必要があります。
※ Windows 2000 には対応していません。
※ DRM の保護レベルによっては、再生できないことがあります。
※ビデオ出力は 480i となります。

⚠注意 **D 端子をコンポーネントに変換して出力している場合、解像度が 480i(NTSC 4x3) に変更された際に画面が表示されなくなる場合があります。このようなときは、テレビの表示解像度を 480i(NTSC 4x3) に変更してください。設定方法については、テレビのマニュアルをご参照ください。**

Wake on LAN 機能への対応について

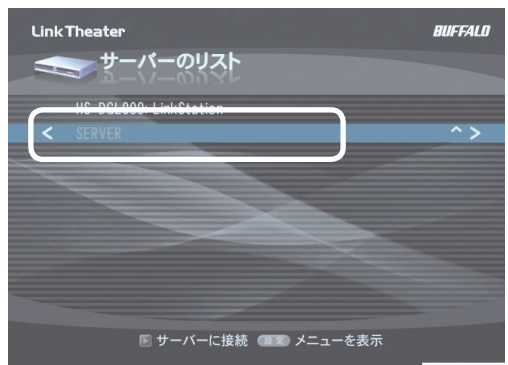
本製品は、DLNA 対応のハードディスクレコーダーなどの Wake on LAN 機能に対応しております。
スタンバイ状態にした DLNA 対応機器を、本製品の設定画面の DLNA サーバー一覧画面から選択するだけで、Wake on LAN 機能により DLNA 対応機器が起動しアクセスできるようになります。
※ DLNA 対応機器が Wake on LAN 機能に対応している必要があります。

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面

2 [DLNA サーバー] を選択し、リモコンの [選択・再生] ボタンを押します。

テレビの画面

3 Wake on LAN 対応の DLNA 対応機器選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

メモ

- 過去に検出した DLNA 対応機器は画面に記録されています。記憶されていても検出されなかった DLNA 対応機器は、未検出サーバーとして灰色の文字で表示されます (過去にアクセスしていない DLNA 対応機器は表示されません)。
- DLNA 対応機器に接続できなかった場合、Wake on LAN 信号を送信して DLNA 対応機器が起動するまで「待ち状態」に入ります。「待ち状態」をキャンセルしたいときは、リモコンの方向キー◀ボタンを押してください。
- リモコンの [設定] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。
  選択サーバーを一覧から削除
  サーバー一覧画面で選択した灰色の文字の未検出サーバーを1件削除します。
  未検出サーバーを一覧からすべて削除
  サーバー一覧画面に表示されているすべての灰色文字の未検出サーバーを削除します。
  MAC アドレス
  Wake on LAN 信号に使用する DLNA 対応機器の MAC アドレスを変更します (通常は自動的に認識されます。実際の DLNA 対応機器の MAC アドレスとは異なる場合のみこちらから変更します。)

イーサネットコンバーターをご利用の場合、DLNA 対応機器の Mac アドレスが正しく認識できず、Wake on LAN に失敗することがあります。その場合は正しい MAC アドレスに変更してください。MAC アドレスの確認方法は DLNA 対応機器のマニュアルをご参照ください。

以上で Wake on LAN 機能対応の DLNA サーバーへのアクセスは完了です。

LinkStation の PC 連動電源機能への対応について

本製品は LinkStation の PC 連動電源機能 (パソコンの電源 ON/OFF に合わせて、自動的に LinkStation の電源を ON/OFF する機能) に対応しています。
LinkStation が接続されているネットワークのパソコンを全て電源 OFF、および本製品の電源を OFF(スタンバイ) にすると、自動的に LinkStation の電源が OFF になります。

⚠注意
- 本製品の電源ケーブルを抜くなどして電源 OFF にした場合は、正常に PC 連動電源機能が動作しません。本製品付属のリモコン、または本製品前面の電源ボタンで OFF(スタンバイ) にしてください。
- PC 連動電源機能で LinkStation の電源を OFF にするには、本製品に LinkStation を登録する必要があります。登録は、LinkStation と本製品の電源を ON にして同じネットワークに 5 分程度接続していれば自動で行なわれます。もし本製品の電源と LinkStation の電源がうまく連動しないときは、一度 LinkStation 内の共有フォルダーにあるファイルを再生してください。LinkStation 内の共有フォルダーに本製品からアクセスすると、LinkStation が本製品に登録されます。再生手順については、P25「DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する」をご参照ください。

詳細設定

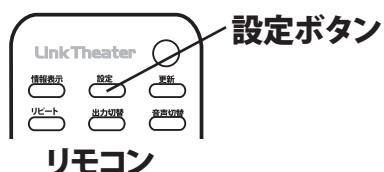
本製品の詳しい設定のしかたについて説明しています。

本製品の詳細設定

本製品の詳細設定を説明します。

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面

2 リモコンの [設定] ボタンを押します。

3 システムメニューが表示され、各項目の詳細設定を行うことができます。

・システムメニュー

[機器情報]
メディアプレーヤーの名称やバージョンを知ることができます。

[アップデート]
バージョン、シリアル番号を確認できます。[アップデートの確認と実行] では、本製品のファームウェアをアップデートすることができます (本製品がインターネットに接続されている必要があります)。【P38】

[設定]

画面出力設定

[出力モード] では、表示解像度・表示画面の縦：横の比率を指定します。

※指定したモードで 10 秒間ビデオ出力が行われます。その間にリモコンの［0］ボタンを押して決定してください。決定されない場合は指定前のモードに戻ってビデオ出力を行います。

※リモコンの [出力切替] ボタンを押すことでも、モードを切り替えることができます。

⚠注意 ビデオファイルの再生中は、リモコンで出力切替を行うことはできません。

ネットワーク設定

[ネットワーク情報] では、本製品が接続されているネットワークの状態を表示します。

[ネットワーク接続] では、ネットワークへの接続方法を設定します。

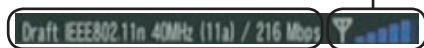
有線：LAN ケーブルで本製品をネットワーク内に接続したいときに選択します。

無線 (AOSS)(LT-H90WN のみ)：本製品をAOSS で AirStation と無線接続したいとき、に選択します。

⚠注意 **本製品と AirStation を AOSS で接続後、その他の機器が AOSS で接続するとセキュリティーレベルが変化し、本製品からサーバーが見えなくなることがあります。このようなときは、再度 AOSS で本製品と AirStation を接続してください。**

メモ **本製品を無線接続している時は、接続情報が画面右上に表示されます。**

無線接続の電波強度を 5 段階で表示します。

Draft IEEE802.11n 40MHz (11a) / 216 Mbps

無線接続時の接続情報が表示されます。
※表示速度はリンク速度で、実際の速度は異なります。

無線 (手動設定)(LT-H90WN のみ)：無線で本製品を AirStation に接続したいときに選択します。

AirStation の SSID、認証のタイプ、暗号キーを入力します。

SSID：接続したい AirStation の SSID を入力します。

認証のタイプ：AirStation の認証方式を［暗号化なし、WEP64bit、WEP128bit、WPA-PSK TKIP、WPA-PSK AES、WPA2-PSK TKIP、WPA2-PSK AES］から選択します。

キー：使用したい暗号化方式にあわせて暗号化キーを入力します。

WEP64bit　5 文字の英数字記号もしくは 10 桁の数字または「A ～ F」までの英字で 入力してください。

WEP128bit　13 文字の英数字記号もしくは 26 桁の数字または「A ～ F」までの英字 で入力してください。

WPA-PSK (TKIP または PSK AES)、WPA2-PSK(TKIP または AES)　8 ～ 63 文字の英数字記号もしくは 64 桁の数字または「A ～ F」までの英字で入力してください。

自動接続 (DHCP サーバー)：ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合に自動的に IP アドレスを割り当てます。

手動で IP アドレスを入力します：手動で、IP アドレス、サブネットマスクを入力することもできます。

[プロキシ設定] では、プロキシサーバーの IP アドレス、ポートを指定します。

[11n 倍速モード設定] では、無線使用時に 11n 倍速モード（通信速度：270Mbps）を使用するかを設定します (LT-H90WN のみ)。

一般設定

スクリーンセーバー
何も操作しなかったときにテレビ画面にスクリーンセーバーを起動する時間 (15 秒～ 10 分) を設定できます。

写真表示間隔
写真ファイルをテレビ画面に表示する時間 (3 秒～ 2 分) を設定できます。

LED ディマー
本製品前面の LED の明るさを 10 段階 (1 ～ 10) で設定できます。

キー操作音
リモコンキーの操作音 (大、中、小、切) を設定できまきます。

S/PDIF パススルー
S/PDIF でアンプに接続したとき、ファイルの音声形式が Dolby Digital または AAC の場合、PCM に変換せずにそのまま出力するよう選択することができます。

スキップ時間 (戻る)
スキップボタンを押したときのスキップ時間を変更します (10 秒～ 5 分)。

スキップ時間 (進む)
スキップボタンを押したときのスキップ時間を変更します (10 秒～ 5 分)。

DLNA 機能設定

連続再生
[ON] にすると、同じフォルダーにあるファイルを順次連続再生するよう設定されます。

表示順の変更
DLNA でのファイルの表示順序を、[ソートしない][タイトル順 (昇順)][タイトル順 (降順)][日付順 (昇順)][日付順 (降順)] から選択できます。

ネットワーク共有機能設定

連続再生
[ON] にすると、同じフォルダーにあるファイルを順次連続再生するよう設定されます。

表示順の変更
ネットワーク共有でのファイルの表示順序を、[タイトル順 (昇順)][タイトル順 (降順)][日付順 (昇順)][日付順 (降順)][サイズ順 (昇順)][サイズ順 (降順)] から選択できます。

USB 機器機能設定

連続再生
[ON] にすると、同じフォルダーにあるファイルを順次連続再生するよう設定されます。

表示順の変更
USB 機器でのファイルの表示順序を、[タイトル順 (昇順)][タイトル順 (降順)][日付順 (昇順)][日付順 (降順)][サイズ順 (昇順)][サイズ順 (降順)] から選択できます。

[設定初期化]

本製品を出荷時設定に戻します。

付録

ルーターの無い環境での手動設定手順、ファームウェアのアップデート方法、困ったときは、仕様について説明しています。

ルーターをお持ちでない方へ（IP アドレスを手動で設定する手順）

ここでは、パソコンの IP アドレスを確認し、本製品の IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。付属ソフトウェアをインストールしたパソコンを認識しないときや、インターネットをお使いの環境でルーターを使用していない（DHCP サーバー機能がない）場合のみ行ってください。

メモ　画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。

パソコンの IP アドレスを確認する

1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

[スタート] − [(すべての) プログラム] − [アクセサリ] − [コマンドプロンプト] を選択します。

2 画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

3 「IP Address(IPv4 アドレス)」欄と「Subnet Mask(サブネットマスク)」欄に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

```
C:¥>IPCONFIG /ALL
Ethernet adapter ローカルエリア接続
IP address                         : 192.168.11.2
Subnet Mask                        : 255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix    :
Description                        : BUFFALO LGY-PCI-TXD Ethernet Adapter
Physical Address                   :
DHCP Enabled                       : Yes
Default Gateway                    : 192.168.0.1
DNS Servers                        : 192.168.0.1
```

確認

以上でパソコンの IP アドレス確認は完了です。
続いて P34 の手順で本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、P33 の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

本製品に設定するIPアドレスの値は？

本製品のIPアドレスには、以下のような値を設定します。

パソコンのIPアドレス

192.168.11.2　の場合

本製品のIPアドレス

192.168.11.12　に設定します。

同じ値にする

1～254の数字でパソコンと違う値にする

本製品に設定するサブネットマスクの値は？

本製品のサブネットマスクは、パソコンのサブネットマスクと同じ値を設定します。

パソコンのサブネットマスク

255.255.255.0　の場合

本製品のサブネットマスク

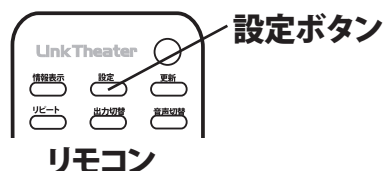
255.255.255.0　に設定します。

同じ値にする

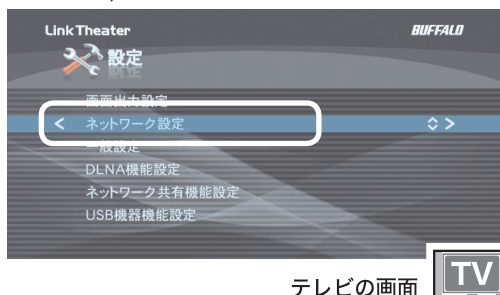
本製品の IP アドレスを設定する

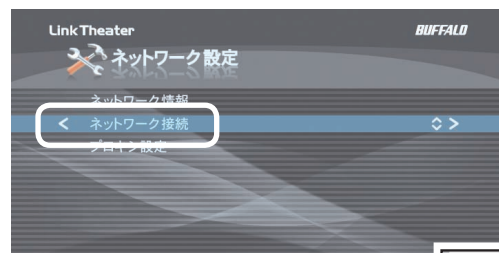
1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面

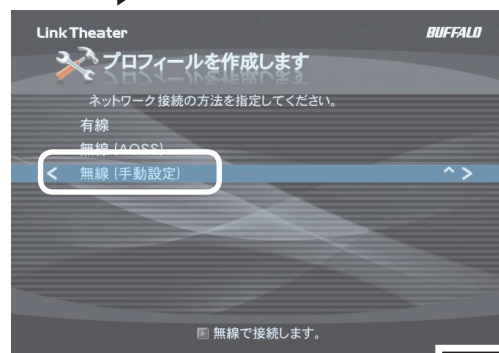
2 リモコンの [設定] ボタンを押します。

3 [設定] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

4 [ネットワーク設定] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

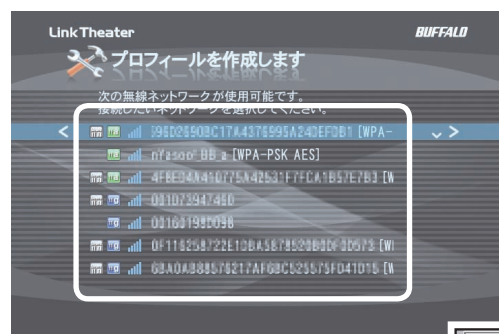
5 [ネットワーク接続] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

⚠注意 LT-H90LAN を お使いの方は、手順 7 に お すすみください。 手順 6~7 は LT-H90WN の画面です。

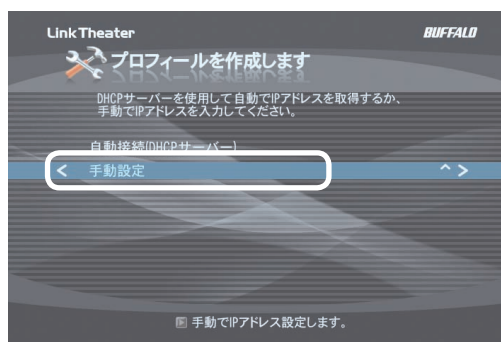
6 [無線 (手動設定)] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

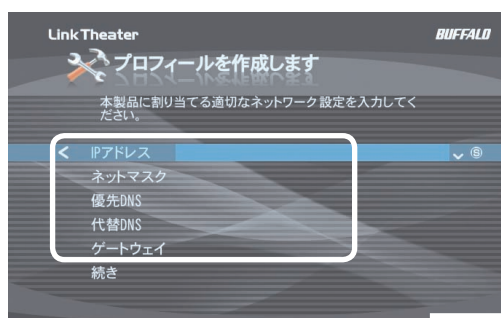
⚠注意 [有線] を選択した場合は、手順 8 は表示されません。手順 7 へおすすみください。

メモ [無線 (AOSS)] を選択して接続した場合、IP アドレスは自動的に DHCP サーバーより割り当てられます。

7 [表示されたリストから接続したい AirStation を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

⚠注意 AirStation にセキュリティーが設定されている場合は、セキュリティーキーを入力し、[選択・再生] ボタンを押します。

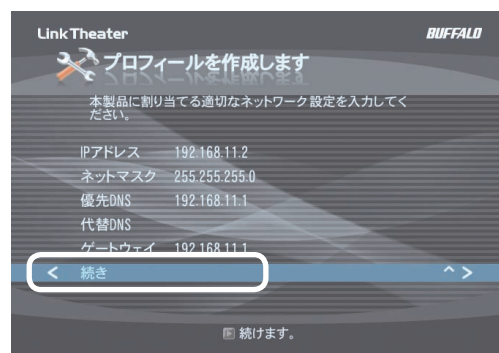
8 [手動設定] 選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

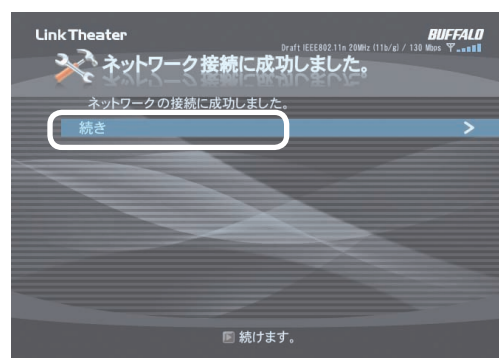
9 IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバー、ゲートウェイを入力し、[選択・再生] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

⚠注意 IP アドレスがパソコンの値と重複しないようにしてください。設定する値が分からないときは、P33 の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

例：パソコンの IP アドレスが「192.168.11.2」サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、本製品の IP アドレスは「192.168.11.12」サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定します。

メモ IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバー、ゲートウェイは、リモコンのテンキーで入力します。「. (ピリオド)」は、[1] ボタンを 2 回連続して押すことで入力できます。

10 [続き] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

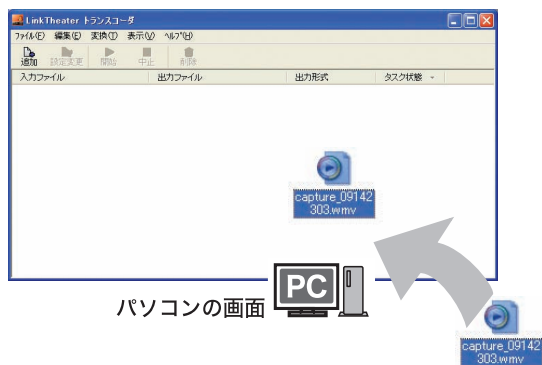
11 [続き] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

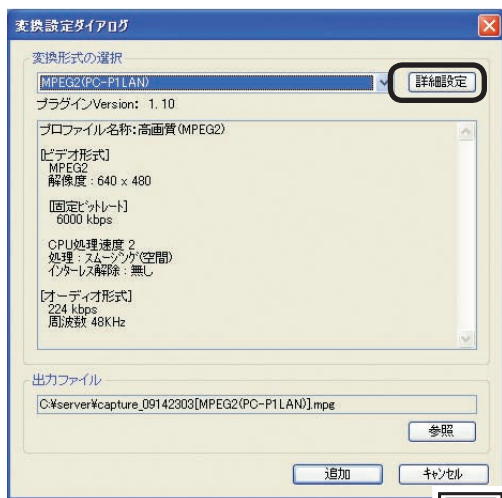
以上で本製品の IP アドレスの設定は完了です。

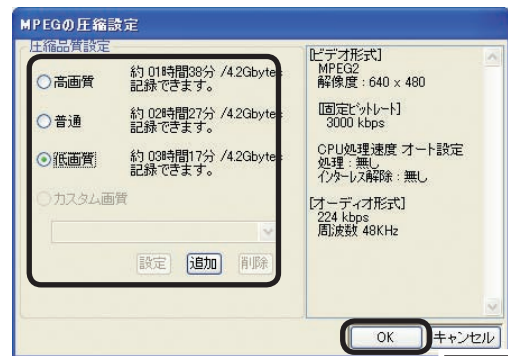
トランスコーダーについて

本製品でお手持ちの動画ファイルが再生できなかったり、映像が滑らかに再生できないときは、あらかじめ付属のトランスコーダーで MPEG2 ファイルにデータを変換します。

1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[LT-H90]-[トランスコーダ]-[トランスコーダ] をクリックします。

2 変換したいファイルをドラッグ＆ドロップします。

パソコンの画面

3 [詳細設定] をクリックします。

パソコンの画面

4 圧縮品質を選択 (「高画質」を選択しても 8Mbps 以下となります) し、[OK] をクリックします。

パソコンの画面

お好みの画質を個々に詳細の設定をしたいときは、[追加] をクリックし、詳細項目を設定してください。設定した項目は、[カスタム画質] として選択できるようになります。

設定できる項目は次の通りです。

調整モード

調整モードを固定ビットレート（CBR)、可変ビットレート（CVBR)、固定品質（CQ）から選択します。各モードの特徴は、「用語集」（P44）を参照してください。また、ここで選択したモードによって「レート設定」で設定できる項目が異なります。

ビットレート

設定する値が大きいほど映像がきれいになりますが、MPEG2 形式に変換後のファイル容量も大きくなります。設定可能範囲は 192 ～ 8000(kbps) です。

調整モードで「可変ビットレート」を選択している場合は、ここで設定したビットレートを中心に最大ビットレートから最小ビットレートの範囲で録画します。設定する値は、下で設定する「最大ビットレート」と「最小ビットレート」の範囲に収まるように設定してください。

最大ビットレート

MPEG2 形式に変換する際の最大ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は、上項目の「ビットレート」の値～ 8000(kbps) です。

最小ビットレート

MPEG2 形式に変換する際の最小ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は 192(kbps) ～上項目の「ビットレート」の値です。

高圧縮高画質

調整モードで「固定品質」を選択した場合のみ設定できます。スライドバーをドラッグして画質を設定します。ゲージを高圧縮に近づけるとファイルサイズは小さくなりますが画質が悪くなります。ゲージを高画質に近づけると、ファイルサイズは大きくなりますが高画質となります。

インターレス解除

ボブに設定すると、ノイズは残りますがメディアンに比べシャープな画像になります。

メディアンは、画像をぼかしノイズを除去します。

CPU 処理速度

値が高いほど画質が向上しますが、CPU（パソコン）にかかる負荷が大きくなります。通常は、0～2 の値を使用してください。

オーディオビットレート

ビットレートは高ければ高いほど音質は良くなりますが容量も大きくなります。

5 [追加] をクリックします。

パソコンの画面

メモ　[出力ファイル]-[参照] をクリックすれば、変換後のファイルの保存先、ファイル名を指定することができます。初期設定では、変換元ファイルと同じ場所、ファイル名末尾に [MPEG2(PC-P1LAN)]_000 を追加して保存します (000 は同一名ファイルを複数回変換したときカウントアップされた番号となります)。

6 [タスク状態] が、[変換待ち] → [変換中] → [変換完了] と表示されます。

パソコンの画面

メモ　変換を中止するには、[中止] をクリックしてください。中止したファイルを変換するには [開始] をクリックしてください。

以上でデータの変換は完了です。

ファームウェアのアップデート方法

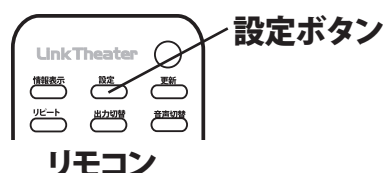
本製品のファームウェア（内部ソフトウェア）をアップデートする手順を説明します。

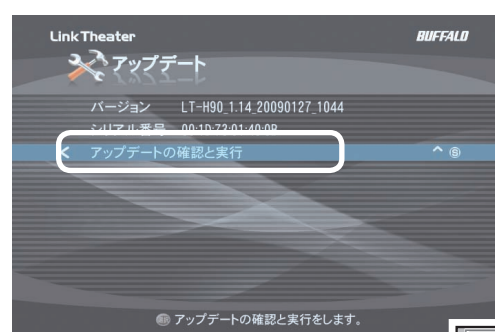
⚠注意
・ファームウェアのアップデートをするには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。本製品と接続したルーターやエアステーションがインターネットに接続されていることを確認してください。
・アップデート中は、本製品の電源を切らないでください。また、ボタン操作も行わないでください。アップデートは通常 5 ～ 10 分で完了しますが、お使いのネットワーク環境（ネットワーク回線が込み合っている場合など）によっては 40 分程度かかることがあります。

1 本製品の電源を入れます。

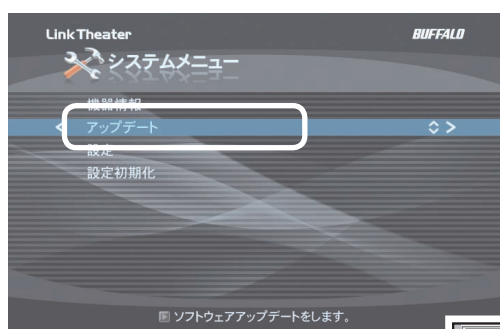
テレビの画面 TV

2 リモコンの [設定] ボタンを押します。

3 [アップデート] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 [アップデートの確認と実行] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ　すでに最新のファームウェアが搭載されていた場合、「アップデート情報はありません」と表示されます。

以上でファームウェアのアップデートは完了です。

困ったときは

電源が入らない

原因①：
電源ケーブルがコンセントまたは本製品から外れている
対策①：
電源ケーブルはコンセントおよび本製品に接続してください。

映像や音声が出ない

原因①：
テレビの接続が間違っている
対策①：
正しく接続してください

原因②：
入力を正しく選択していない
対策②：
テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③：
本製品やテレビのミュート (消音) が有効になっている
対策③：
リモコンの [ミュート] ボタンを押して消音機能を無効にしてください。テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。

原因④：
DirectX が破損している、または削除されている
対策④：
付属の CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから [DirectX のインストール] を選択してください。以降が画面のメッセージにしたがって DirectX を再インストールしてください。

原因⑤：
本製品の表示解像度、縦横比率と接続しているテレビが合っていない
対策⑤：
P29 に記載の「画面出力設定」と異なるテレビを接続しても映像は表示されません。表示解像度、縦横比率に合ったタイプのテレビに接続してください。

リモコンで操作できない

原因①：
電池が入っていない
対策①：
電池をリモコンにセットしてください

原因②：
電池が消耗している
対策②：
新しい電池と交換してください

原因③：
電池の入れ方が間違っている
対策③：
電池の極性（+、−）を確認して、正しく入れてください

原因④：
リモコンをテレビに向けている
対策④：
リモコンは本製品に向けて操作してください。

原因⑤：
リモコンと本製品の間に障害物がある
対策⑤：
障害物をなくすか、避けてお使いください。

原因⑥：
リモコンと本製品の間隔が遠い
対策⑥：
リモコンを本製品に近づけて操作してください。

登録フォルダーに入れたファイルを認識できない

原因①：
ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用している
対策①：
ファイル名に 2 バイトコード文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、ファイル名を変更してください。

本製品でパソコンが認識できない

原因①：
LAN ケーブルが接続されていない
対策①：
本製品およびパソコンに LAN ケーブルが接続されているか確認してください (カチッと音がするまで差し込んでください)。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因②：
ケーブルが間違っている（パソコンと直接接続する場合）
対策②：
パソコンと本製品を直接する場合は、クロスケーブルが必要です。クロスケーブルで接続してください。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因③：
本製品付属ソフトウェアをインストールしていない
対策③：
付属 CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから付属ソフトウェアをインストールしてください。

原因④：
PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツールなど）がインストールされている
対策④：
PPPoE 接続ツールをアンインストールしてください。

原因⑤：
ルーターやアクセスポイントが故障している
対策⑤：
どうしてもルーターやアクセスポイントに接続した環境で認識できないときは、「はじめにお読みください」を参照して、パソコンと直接本製品を接続してお使いください。

原因⑥：
IP アドレスが間違っている
対策⑥：
「ルータをお持ちでない方へ」(P32) を参照して、本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレス「***.***.***.;;;」（「*」や「;」は数字）の ** 部分が同じであることを確認してください。
例えば、本製品の IP アドレスが「192.168.11.51」の場合、パソコンの IP アドレスが「192.168.11.61」などになっていることを確認してください。

原因⑦：
ファイアウォール機能を持つソフトウェアがインストールされている
対策⑦：
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、**TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」** の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトウェアをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。以下では、ファイアウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

【トレンドマイクロ社ウイルスバスター 2008 ファイアウォール無効化手順】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1..[スタート]-[(すべての) プログラム]-[ウイルスバスター 2008]-[ウイルスバスター 2008 を起動] を選択します。
2. メイン画面左側の［不正侵入対策 / ネットワーク管理］をクリックし、［パーソナルファイアウォール］欄にある [有効] をクリックします。
3. ファイアウォール機能が無効に切り替わったのを確認し、画面右上の [×] をクリックし、メイン画面を終了します。

以上で設定は完了です。

【Norton Internet Security 2008 ファイアウォール無効化手順】

以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。

本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。

1.[スタート]-[(すべての) プログラム]-[Norton Internet Security]-[Norton Internet Security] を選択します。
2.［設定］をクリックします。
3.［Web 設定］→ [ファイアウォール] の順にクリックします。
4.[オフにする] をクリックします。
 ※有効にするときは [オンにする] をクリックします。
5. ファイアウォール機能をオフにする期間を選択し、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows Vista ファイアウォール無効化手順】

※ TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可する方法を推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。

本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティ］をクリックします。

※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティ］項目はありません。手順３へ進みます。

3.［Windows ファイアウォール］の［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックします。
4.[ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
5.[Windows ファイアウォールの設定] 画面の [全般] タブの [無効 (推奨されません）] にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows XP SP2(サービスパック 2) ファイアウォール無効化手順】

※ TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可する方法を推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。

本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティセンター］をクリックします。

※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティセンター］項目はありません。手順３へ進みます。

3.［Windows ファイアウォール］をクリックします。
4.「無効（推奨されません）」にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

映像、音楽、写真を再生できない

原因①

再生しているファイルの種類、画質、エンコード条件が本製品にあっていない

対策①

ファイルの種類や画質、エンコード条件によって本製品で再生できない場合があります。本製品で再生できる形式のファイルを再生してください (P4)。

原因②：

ファイルが壊れている

対策②：

ファイルが壊れている場合は再生できません。

原因③

映像と音声がインターリーブされていない

対策③

インターリーブされていない AVI ファイルは再生できません。AVI ファイル作成時は、インターリーブする設定で作成してください。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

原因④

著作権保護されたファイルを再生している

対策④

本製品は著作権保護されたファイルを再生できません。著作権保護されていないファイルを再生してください。

映像が正しく表示されない

原因①：
NTSC 方式以外のテレビ方式で記録された映像を再生している
対策①：
NTSC 方式以外の方式で記録された映像は正常に表示されないことがあります。

原因②：
ビデオ機器を経由させテレビに接続している
対策②：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因③：
ビデオ機能を搭載したテレビに接続している
対策③：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

リピートボタンを押しても動作しない

原因①：
設定画面で連続再生を有効にしていない
対策①：
P31 の連続再生を有効にしていないと、リモコンのリピートボタンを押しても動作しません。

原因②：
サーバーの仕様によっては、リピートできないフォルダーがあることがあります。
対策②：
再生したいファイルを別のフォルダーに移動してお試しください。

再生するとコマ落ち、音飛びする

原因①：
本製品を接続したネットワークで他の機器が通信している
対策①：
本製品の再生中に他の機器で通信を行っていると、ネットワークが混雑しコマ落ちや音飛びすることがあります。コマ落ちや音飛びする場合は、他の機器の通信を終了してから再生してください。

原因②：
11Mbps の無線で接続している
対策②：
11Mbps の無線で接続している場合、3Mbps 以上のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。

原因③：
再生したファイルの種類や画質、エンコード条件が本製品とあっていない
対策③：
ファイルの種類や画質、エンコード条件によってコマ落ちや音飛びすることがあります。本製品の条件にあったファイルを再生してください (P4)。

原因④：
ビットレートが P4 に記載された値を超えている
対策④：
P36 に記載のトランスコーダー、または別途エンコードソフトウェアを用意し、ビットレートを小さくしてください。

テレビで見たとき端 (外周部) の映像がカットされている、映像がずれて見える

一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。テレビによってカットする量に差があり、お使いのテレビによっては、映像の端 (外周部) がカットされて見えたり、映像が左右または上下にずれて見えることがあります。

Media Server2 がブロックされて本製品でパソコンを認識できない (Windows Vista/XP)

付属ソフトウェアのインストール後、パソコンを再起動したとき、「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。
このようなときは、[ブロックの解除] をクリックしてください。

[後で確認する] をクリックしてしまった場合
Media Server2 を再起動してください。再び「このプログラムをブロックし続けますか ?」と表示されます。[ブロックの解除] をクリックしてください。

[ブロックする] をクリックしてしまった場合
次の手順でファイアウォールの設定を変更してください。

Windows Vista

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [セキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
3. [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
4. [Windows ファイアウォールの設定] 画面の [例外] タブの中の [プログラムまたはポート] の中の [mediaserver.exe] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

Windows XP

1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続]-[Windows ファイアウォールの設定を変更する] をクリックします (または [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします)。
3. [例外] タブをクリックします。
4. [mediaserver.exe] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。[OK] をクリックします。

AOSS 設定時にエラーメッセージが表示されたときは (LT-H90WN のみ)

AOSS が正常に設定できないとき、以下のメッセージがテレビ画面に表示されます。そのようなときは次の対処を行ってください。

AOSS モードのアクセスポイントが見つかりませんでした
アクセスポイントが AOSS モードになっているか確認してください。またはアクセスポイントと製品を近づけてから再度設定を行ってください。

二つ以上の AOSS 状態のアクセスポイントが発見されました。時間を置いてやり直してください
AOSS はアクセスポイントと製品は 1 対 1 で行われます。AOSS 状態のアクセスポイントが 1 台になるまでお待ちください。

セキュリティーキー交換でエラーが発生しました
セキュリティーキー交換時に、電波を一時的に弱くします。何度やり直しても同じエラーが表示されるときは、アクセスポイントと製品を 50cm ほどに近づけて再度設定を行ってください。

他のクライアントが接続中のため、少し待ってからやり直してください
複数の無線パソコンが AOSS 機能を使ってアクセスポイントに接続しようとしています。1分程度時間をおいてから、再度設定を行ってください。

アクセスポイントの最大接続数を超えました
アクセスポイントの管理できるステーション数は 24 台までです。

用語集

- **AOSS(AirStation One-Touch Secure System)**

  弊社製 AirStation をご使用の際にワンタッチ作業で無線 LAN のセキュリティーを設定する技術。

- **AVI**

  Microsoft 社が Windows 用に開発したデジタルファイルフォーマットです。AVI 形式 (コーデックを使用しない）で録画した場合、映像の圧縮を行わないため録画したファイルの容量が大きくなります（320 × 240 の解像度で録画した場合、30 分で約 5GB 必要です)。編集ソフトなどで簡単に加工できる特長を持ちますが、長時間録画を行うと映像と音声がずれることがあります。

- **CBR：Constant Bit Rate（固定ビットレート）**

  常に同じビットレート（データ量）でデータを圧縮します。そのため、動きの多いシーンなどでは動きの少ないシーンに比べ画質が落ちることがあります。また、動きが激しい場面では、ビットレートが足りない場合にブロックノイズが発生することがあります。

- **CQ : Constant Quality（固定品質）**

  映像品質を一定に保った状態で、ビットレートを自動的に変動させ圧縮します。

  映像によってビットレートが変動するため、圧縮する映像によって圧縮したファイルの容量が大幅に変わります（動きが多い映像ほど容量が大きくなります)。

- **CVBR：Constrain Variable Bit Rate（可変ビットレート）**

  あらかじめ設定した範囲のビットレート（データ量）で圧縮するモードです。動きが多いときはビットレートが高くなり、動きの少ないときはビットレートを低くして圧縮を行います。本製品では、（平均）ビットレート、最大ビットレートを指定でき、（平均）ビットレートの値を平均値として圧縮を行います。

- **MPEG**

  Moving Picture Expert Group（通称 MPEG フォーマットフォーラム）が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEG フォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-Video や Video-CD にも使われているフォーマットです。MPEG フォーマットには、「MPEG-1」「MPEG-2」などいくつかの形式があります。

- **MPEG-2**

  MPEG-1 フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Video の形式に用いられています。

- **WMV**

  Windows Media 形式の映像ファイルです。

- **コーデック（Codec）**

  コーデックとはデータの符号化と復号を行うもので、もともとは通信用語の COder/DE-Codeer を縮めたものです。映像や音声を圧縮・伸張するプログラムで、パソコンで映像を再生・保存するのに必要なものです。コーデックには様々な種類があり、映像ファイルによっては、映像が表示されなかったり、音声が出力されないことがあります。

- **ビットレート**

  画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上されますが、録画ファイルの容量が大きくなります。

仕様

メモ　最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

無線 LAN インターフェース (LT-H90WN のみ)	
準拠規格	IEEE802.11a：ARIB STD-T71（5GHz 帯小電力データ通信システム） IEEE802.11g、IEEE802.11b：ARIB STD-T66 （2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システム） Draft IEEE802.11n
伝送方式	DS-SS 方式単信（半二重）、OFDM 方式単信（半二重）、 MIMO-OFDM 方式単信（半二重）
アクセス方式	インフラストラクチャモード
データ転送速度	IEEE802.11b:11、5.5、2、1Mbps IEEE802.11a/g:54、48、36、24、18、12、9、6Mbps IEEE802.11n: 最大 270Mbps(MCS 0 〜 15、LongGI のみ)
周波数範囲 (中心周波数)/ チャンネル	5,180~5,240MHz/W52　36、40、44、48 5,260~5,320MHz/W53　52、56、60、64 2,412~2,472MHz/1~13ch ※従来の 11a(J52) のみ対応アクセスポイントとは接続できません。 ※ 携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信する可能性があります。
アンテナ	外付デュアルバンド (2 本)
セキュリティー	WEP 128(104)/64(40)bit、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(TKIP/AES)
有線 LAN インターフェース (LT-H90WN/H90LAN 共通)	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠（10BASE-T/100-BASE-TX）
転送速度	10/100Mbps（オートセンス）
コネクター形状	RJ-45 型 8 極コネクター
外部出力 (LT-H90WN/H90LAN 共通)	
HDMI	１系統
Ｄ端子	１系統（Ｄ４/ Ｄ３/ Ｄ２/ Ｄ１）
コンポジットビデオ	RCA ピンジャック（黄色）、１系統
デジタルオーディオ	光角型、１系統
アナログオーディオ	RCA ピンジャック（左：白色　右：赤色）、１系統
外部入力 (LT-H90WN/H90LAN 共通)	
USB 規格	Universal Serial Bus Revision2.0/1.1
USB コネクター	シリーズ A(前面× 1、背面×１)
MediaServer2(LT-H90WN/H90LAN 共通)	
対応パソコン	DOS/V 機 (OADG 仕様)
対応 OS	Windows Vista(32bit/64bit)、Windows XP、Windows 2000 SP4 以降 ※ Windows 2000 SP4 をお使いの場合、WindowsUpdate にて最新の状態にしてください。最新の状態でないと正常に動作しないことがあります。
その他 (LT-H90WN/H90LAN 共通)	
使用電源	AC100V　50/60Hz
最大消費電力 (USB コネクター未使用時)	LT-H90WN：20W　LT-H90LAN：19W
動作環境	温度 0 〜 40℃、湿度 10 〜 50%（結露なきこと）
外形寸法	210(W) × 50(Ｈ) × 215(Ｄ) mm（ゴム足を含む　アンテナを含まず）
重量	約 1.2kg